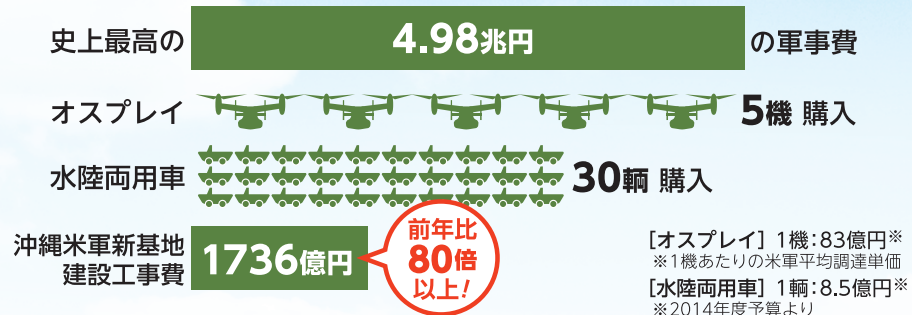


誰かから、自分に向けられる。
誰かに向けた銃口は、

安倍政権がすすめる「戦争する国」への道。

▶ 社会保障の切り下げを図る一方、軍事費は過去最高に



その先にあるものは——

▶ 自衛隊の活動地域を広げ、米軍と軍事行動が可能に

集団的自衛権の行使容認の閣議決定を行った安倍内閣に対し、238もの地方議会が反対の意見書を提出しています。しかし民意に反して、政府は自衛隊活動の拡大に向けた法整備にまい進しています。

— 安保法制(安全保障法制)をめぐる政府の動き —

閣議決定(2014年7月)

国の存立が脅かされ、国民の生命、自由、権利が根底から覆される危険。

法整備(2015年5月)

存立事態 と定義。

↓
集団的自衛権の行使可能に。

その実態は?

日本に対する攻撃ではなく、他国に対する武力攻撃に自衛隊が出動できるようにする。

▶ 民意を無視した新基地建設の強行

昨年の沖縄県知事選挙で示された「辺野古新基地建設NO!」の民意を無視し、建設へ向けた海底ボーリング調査を再開する暴挙にでた安倍政権。

しかし、この暴走とも言える強引な進め方に、沖縄県民や国民世論に追い詰められている焦りも見とれます。

みんないれん
「民医連」とは?

いのちの平等をかけて61年——差額ベッド代を徴収しない、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。医療・介護・福祉でお困りのことは、お近くの民医連事業所へ。

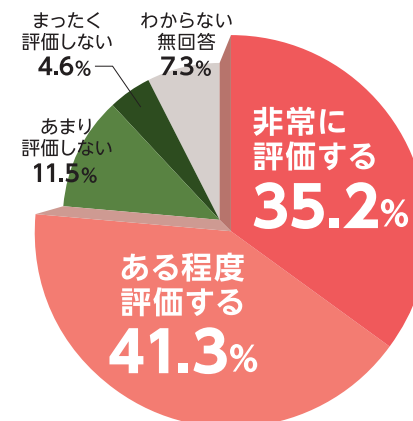
〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター7F
TEL03-5842-6451 FAX03-5842-6460
URL <http://www.min-iren.jp>



全日本民医連
(全日本民主医療機関連合会)

憲法9条を守ることは、
いのちを守るといふこと。
武力でいのちは守れない。
「戦争ができる国づくり」へ暴走を続ける安倍政権。
今、この国は本当の岐路に立っています。
平和と人権、そして何よりもいのちが大切にされる国へ。
選ぶのは、私たちです。

戦後、憲法9条の果たした役割を、どの程度評価するか。



出所: NHK「平和観についての世論調査2014」より

民医連新聞

民医連新聞発行所 全日本民主医療機関連合会 発行人 岸本啓介
2015年4月1日号外 (1966年9月13日第三種郵便物認可)